

高さ 2m 61cm 6度目の奇跡！

世界最大級の「花」ショクダイオオコンニャクが咲きました

係員の誘導にしたがってご見学くださいますようにご協力をお願いいたします。



5月27日 (土) 18:30

ショクダイオオコンニャク (*Amorphophallus titanum*)

インドネシア・スマトラ島の限られた場所に生える、サトイモ科の絶滅危惧植物です。巨大な花の集まり(花序)は、高さ3m、直径1m以上にもなり、世界で最も大きい花序をつける植物の1つです。ギネスブックで認定された世界最大の記録は高さ3.1mです。

2023年(令和5年)5月27日(土) 開花

- ◎同じ株が6度も咲くのは日本初
- ◎日本での開花は推定27例目(当園では7回目)
- ◎花序のサイズ:高さ 2m61cm、直径86cm(17:30)
- ◎塊茎(イモ)のサイズ:重量75kg、直径70cm、厚さ36cm

プロフィール

1992年 小石川植物園で播種
 2006年 当園に受け入れ
 〈葉の生育と休眠を数回繰り返す〉

2012年5月25日 第1回開花

- ◎花序のサイズ:高さ 2m6cm、直径 93cm
- ◎塊茎(イモ)のサイズ:重量34kg 直径51cm 厚さ32cm

2014年7月3日 第2回開花

- ◎花序のサイズ:高さ 2m72cm、直径 108cm
- ◎塊茎(イモ)のサイズ:重量70kg 直径66cm 厚さ42cm

2016年8月14日 第3回開花

- ◎花序のサイズ:高さ 2m38cm、直径 101cm
- ◎塊茎(イモ)のサイズ:重量65kg 直径63cm 厚さ32cm

2018年6月26日 第4回開花

- ◎花序のサイズ:高さ 2m40cm、直径 106cm
- ◎塊茎(イモ)のサイズ:重量76kg 直径73cm 厚さ36cm

2020年1月18日 第5回開花

- ◎花序のサイズ:高さ 2m32cm、直径 86cm
- ◎塊茎(イモ)のサイズ:重量67kg 直径71cm 厚さ30cm

〈開花後、葉が生育開始〉

- 2022年 11月 葉が倒れ休眠に入る
- 2023年 2月 植え替え



案内マップ

熱帯雨林温室 1Fへ

順路にそって
お進みください

❗ 印の通路から入って見学することはできません。

熱帯雨林温室の入口は2階です。車イス・ベビーカーご利用の方、階段の昇降が困難な方は★印1階入口より入場できます。

コンニャク新聞

開花
2023年
(令和5年)
5月27日(土)

ショクダイオオコンニャク Q&A

Q:コンニャクは作れますか?

A:作れます。食用のコンニャクイモ1kgで板コンニャク16~18枚ができるので、75kgの今回のイモからは1200~1350枚できる計算になります。

Q:花が終わったらどうなりますか?

A:花は倒れます。しばらくするとイモから葉芽が出て、高さ4mくらいの葉が広がります。

Q:世界最大の花はラフレシアではないのですか?

A:1つの花としてはラフレシアが最大で、直径1メートルほどになります。ショクダイオオコンニャクは、1つの花のように見えますが、正確には花序(花の集まり)で、タンポポのようにたくさんの小さな花が集まって咲きます。

Q:どうして6回も咲いたのですか?

A:毎日ほめて育てました。
スターの素質があるイモなのかもしれません。
本当のところはわかりません。



予告 のぞいてみよう! 植物園のお仕事

夏休み植物園 フェスタ

2023 [休園日] 7/24[月]・7/31[月]・8/7[月]

7/21金 - 8/20日 [開園時間] 9時~17時(入園は16:30まで) 高校生以下および65歳以上は入園無料

[入園料] 一般 320円 団体(20名様以上) 250円 障害者手帳をお持ちの方および、その介護者1名無料